



兵庫教育大学大学院 学校教育研究科

幼年教育・発達支援コース

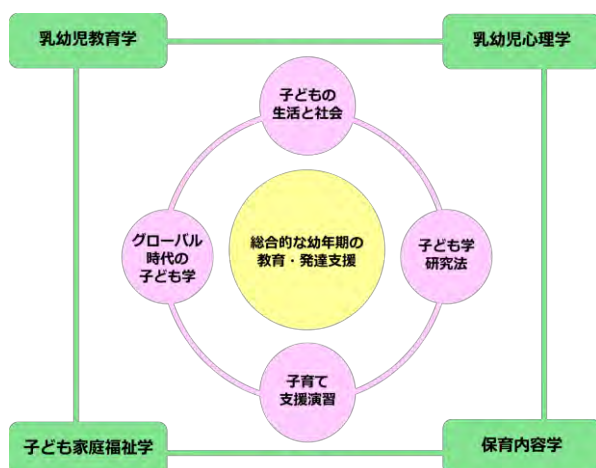


Instagram



コースホームページ

子どもとともに希望ある未来をつくる



幼年期は、遊びや生活の中の具体的な体験を通して生きる力の基礎を担う重要な時期です。幼年教育・発達支援コースでは、「乳幼児教育学」「子ども家庭福祉学」「乳幼児心理学」「保育内容学」の4つの領域を基盤とし、生涯にわたる人間形成の基礎を培う幼年期の教育について、家庭や小学校との関連性を視野に入れながら、教育・研究を積み重ねてきました。さらに、子どもをめぐる現代的な諸問題に対応するため、領域横断科目として「子どもの生活と社会」「グローバル時代の子ども学」「子育て支援演習」「子ども学研究法」の4つを設定しています。

以上のようなカリキュラム構成により、現在にふさわしい幼年期の教育・発達支援の理論と実践の構築を目指しています。さらに、本学の子育て支援ルームや地域の子育て支援施設での実践を通して、地域での子育て支援のリーダーを養成する「子育て支援コーディネーター養成プログラム」を解説しています。「子どもの生活」にまなざしを向け、共に希望ある未来を切り拓いていきましょう。

取得できる教員免許状

幼稚園教諭1種免許状をお持ちの方は、本コースの専門科目を履修し修了することで専修免許状を取得することができます。また、別に必要な単位を取得することで他の校種の専修免許状も取得することができます。

子育て支援コーディネーター 養成プログラム

本コースでは、保育所や幼稚園、認定こども園、地域の子育て支援施設等で求められる力量を身に付けた子育て支援コーディネーターを養成します。コース在籍者のうち、資格付与を希望し所定の単位を取得した者には、認定証が授与されます。



過去の修士論文題目

過去の修士論文の題目を抜粋して以下に示しています。

- ▶ 保育施設転換期における課題解決プロセスに関する検討―保育指導主事経験者のインタビューを通して―
- ▶ 幼稚園型認定こども園 3 歳児クラスにおける進級園児と新入园児の関わりに関する研究
―遊び入れ・遊び入り場面に着目して―
- ▶ フィンランドの多文化保育実践に関する研究―言語支援に着目して―
- ▶ 幼児教育の場における柔らかい家具の意義―臥位に着目して―
- ▶ 幼年期の育児における母親と父親のソーシャルサポートに関する研究
- ▶ 在留外国人と母国にクラス子女の子育て―ベトナム女性の実践から―
- ▶ 食塩摂取に関する親の意識と知識が幼児の食生活と健康状態に及ぼす影響―アンケート調査に基づく検討―
- ▶ 新人保育者の「やりがい」に関する研究―「自己エスノグラフィー」を用いた分析を通して―
- ▶ 先天性心疾患児とその母親への子育て支援の在り方

コース開講科目

コースの開講科目は以下の通りです。

2025年度 授業開講科目名	
子どもの生活と教育	子どもの生活と福祉
子どもの生活と心理	子どもの生活と社会
子どもの生活と健康	子どもの生活と表現
グローバル社会の子ども学	子ども学研究法
子育て支援演習	課題研究

注) これに共通科目の受講が求められます。

修了後の就職状況

修了後の過去 5 年間の就職状況は以下の通りです。

年 度	保育所・幼稚園・ 認定こども園	小学校	大学・短期大学・ 専門学校	児童養護施設 子育て支援事業	公務員	民間企業	その他
2024年度	3	1	1	0	0	1	3
2023年度	5	0	0	0	1	2	0
2022年度	6	0	1	1	0	1	4
2021年度	5	0	0	0	0	1	0
2020年度	8	0	1	1	1	0	0

受験にあたってのよくある質問

Q：どのように研究を進めていくのですか？

A：各自の研究課題について、指導教員の指導のもとで研究を進めていきます。毎週の課題研究やコース全体での中間発表での議論を通して、精度を高めます。完成発表は、修了生も参加し知見を共有します。

Q：4年制大学を卒業していないと受験できないのですか？

A：4年制大学を卒業していなくても、幼稚園教諭等の1種免許状をお持ちの方は受験できます。また、2種免許状をお持ちの方は、事前に手続きをして資格審査を受けることで受験できる場合があります。

Q：働きながら学びたいのですが、夜間クラスは毎日授業がありますか？

A：幼年教育・発達支援コース（フレックスクラス）の専門科目は、月曜日と水曜日の6時間目（18:30～20:00）と7時間目（20:10～21:40）に開設されています。共通科目や他コースの授業や課題研究も含めて、週2～3日授業を受ける方が多いです。コースの専門科目と課題研究はオンラインで受講可能ですので、通学はほぼ必要なくなりました。またフレックスクラスの学生のほとんどが長期履修制度（2年間の授業料で3年間在籍できる制度）を利用して、働きながら余裕を持って学ぶことができます。

○コースへの問い合わせ

問い合わせ先	幼年教育・発達支援コース	E-mail: ishino@hyogo-u.ac.jp
ホームページ	兵庫教育大学	URL : https://www.hyogo-u.ac.jp/
	幼年教育・発達支援コース	URL : https://www.hyogo-u.ac.jp/educare/